

# 令和4年度 学校評価自己評価表 海田町立海田南小学校

## 学校教育目標 「考え 実践する 海田南っ子」

評価計画			評価基準				自己評価		
中期 経営 目標	評価項目	評価指標	A	B	C	D	中間値		
			目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない	中間値	評価	結果と課題の分析
確かな 学力	授業改善	算数科・国語科単元末テストにおける到達度80%以上の児童の割合	70%以上	60%以上	50%以上	50%未満	74%	A	単元末テスト到達度80%以上の児童の割合は算数科68%、国語科74%。算数科、特に思考・判断・表現の領域での指導を工夫する必要がある。
	ぐんぐんタイム	学年に応じた漢字・計算プリント正答率80%以上の児童の割合	90%以上	85%以上	80%以上	80%未満	90%	A	計算96.1%、漢字87.7%。継続した取組で基礎的な知識・技能の定着はみられる。今後は内容に既習内容を幅広く取り入れる。
	読書活動	児童一人当たりの平均貸出冊数(指定図書を含む)	55冊以上	50冊以上	45冊以上	40冊未満	28.71冊	D	児童一人当たりの貸し出し冊数は、28.71冊/人(9月30日現在)。指定図書の貸し出し冊数は、児童一人当たり2冊。129人が4冊以上借りており、読書の幅が広がっている。今後はビブリオバトル等、児童会図書委員会の取組、町の感想文コンクール等とタイアップする。
健やかな 体	体カづくり	進んで運動遊びをした児童の割合	70%以上	60%以上	50%以上	50%未満	65%	B	アンケート結果65%。担任が外遊びに誘ったことや児童会体育委員会のイベントに一定の効果があったと考える。今後、たてわり遊び、体育委員会の取組、的当て板の設置、マラソン大会の練習等により外遊びを促す。
自律した 心	挨拶	挨拶に対する児童アンケートにおける肯定的回答の割合	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	93.40%	A	アンケート結果93.5%。内訳は友達94%、先生97%、ボランティア90%、来校者93%。校内での挨拶は児童会挨拶委員会の取組や教師の率先垂範に一定の効果があったと考える。今後、来校者や校外での挨拶が伸びるよう、挨拶の意義浸透、評価、率先垂範等に継続して取り組む。
	自己肯定感	自己肯定感に関する児童アンケートにおける肯定的回答の割合	80%以上	75%以上	70%以上	70%未満	78%	B	アンケート結果のうち、「自分にはよいところがある」83%、「自分のよさが周りから認められていると思う」73%。今後、学校行事等、自分の成長や良さを実感できる場の設定や、自分表彰、承認し合う学級づくり等を進める。
信頼される 学校	安心・安全な環境づくり	避難時における適切な行動に対する児童アンケートにおける肯定的回答の割合	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	85%以上	A	避難訓練後のアンケート結果は5月86.6%(火災)、6月90.8%(地震)、9月87.0%(地震)。「おはしも(押さない、走らない、喋らない、戻らない)」等、基本行動は定着しているが、いずれも教職員が付き添っての避難訓練であり、今後は下校時、休憩時を想定した取組が必要。10月にPTA主催の防災講演会を実施。
	積極的な情報発信	保護者アンケートにおける肯定的な割合	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	(※)	(※)	月1回以上の学校だより発行(10号まで) 月1回以上のHP更新(TOPページ34回更新) 月1回以上の学年だより発行(各学年) 保護者用緊急メール配信(随時) 学年部及び担当と連携し、内容を精査し充実を図る。※アンケートについては、町の学校満足度評価を活用する。(2学期予定)
ずっと働きた い学校	定時退校	毎月4回以上、18時退校を守ることができた教職員の割合	85%以上	80%以上	75%以上	75%未満	63.6%	D	4月から8月の達成率は63.6%。夕方に家庭への連絡をする職員がいるなど、一斉定時退校が守りにくい。月2回の学年ごとの退校日を加える、業務改善を進めるなど、引き続き取り組む。